



【みなみおおすみドラゴンボート大会】



みなみおおすみ

みんなの議会

2月・3月・4月会議

平成29年度当初予算

新たな議会構成

5名の議員による一般質問

町民と行政のかけはし

第48号

平成29年
6月号

新たな議会のスタート!

— 新体制12名の議員 —



副議長

川原 拓郎



議長

大村 明雄

議員 (議席順)



水谷 俊一



後藤 道子



津崎 淳子



松元 勇治



浪瀬 敦郎



木佐貫 徳和



大久保 孝司



持留 秋男



大坪 満寿子



日高 孝壽

南大隅町議会四期目がスタートしました。四月十六日に行われた議会議員選挙により町民の代表として十二名の議員が選出されました。今回、新人四人の中に南大隅町議会初の女性議員三名が誕生し、新たな議会構成となりました。四月二十七日に初議会が開催され、議長に大村明雄氏、副議長に川原拓郎氏がそれぞれ選任されました。また、各常任委員会等の議会構成も決定しました。これまでの総務民生常任委員会と教育産業常任委員会の二委員会構成に広報広聴常任委員会を設け、町民の議会への関心と町民の意見を幅広く聴取し、行政に反映することを目的とします。女性議員初参加の議会運営を町民に分かりやすく、開かれた議会を目指していきます。

なお、今後は六月会議が開催される予定です。

議長就任のご挨拶

大村 明雄

平素から、町民皆様には
議会活動に対してご理解、
ご協力いただき厚く御礼申
上げます。

引き続き議長の重責を負
うことになりました。身に
余る光栄であり、その責任
の重大さを改めて痛感して
いるところです。

今回の改選により、4名
の新議員が誕生しました。
その内3名が女性で、県内
でも女性の構成比率が最大
の議会となりました。今後、
女性目線での議会活動に期

待したいと思えます。

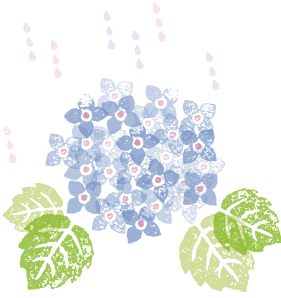
佐多岬の再開発や雄川の
滝の整備、NHK大河ドラ
マ「西郷どん」放映決定、
二〇二〇年かごしま国体開
催など、これからの南大隅
町は観光や入込客への対応
に、大変重要な時期を迎え
ます。一過性に終わること
なく、また行きたいと思わ
せる町づくりが重要です。
これからの四年間、町づく
りの理念を明確にした議会
運営を行っていくと考
えますので、今後一層のご助
言、ご協力を賜りますよう
お願いいたします。

副議長就任のご挨拶

川原 拓郎

前回に引き続き副議長の
大任を負うことになりました。
議員の協力を得ながら、
精一杯、議長のサポートを
行い、町勢発展に誠心誠意
努力いたします。

一層のご理解ご協力をお
願いたします。



南大隅町議会構成

常任委員会	職名	総務民生常任委員会	教育産業常任委員会	広報広聴常任委員会
	委員長	持留 秋 男	松 元 勇 治	水 谷 俊 一
	副委員長	大久保 孝 司	浪 瀬 敦 郎	木佐貫 徳 和
	委員	日 高 孝 壽	水 谷 俊 一	津 崎 淳 子
	〃	大 坪 満寿子	津 崎 淳 子	後 藤 道 子
	〃	木佐貫 徳 和	後 藤 道 子	日 高 孝 壽
	〃	川 原 拓 郎	大 村 明 雄	大 坪 満寿子

議会運営委員会	委員長	持留 秋 男
	副委員長	松 元 勇 治
	委員	水 谷 俊 一
	〃	大久保 孝 司
	〃	浪 瀬 敦 郎
	〃	木佐貫 徳 和
	〃	川 原 拓 郎

議会選出監査委員

日 高 孝 壽

※常任委員会の任期は2年間となっています。この他、必要があると判断された場合、その都度、特別委員会が設置されます。

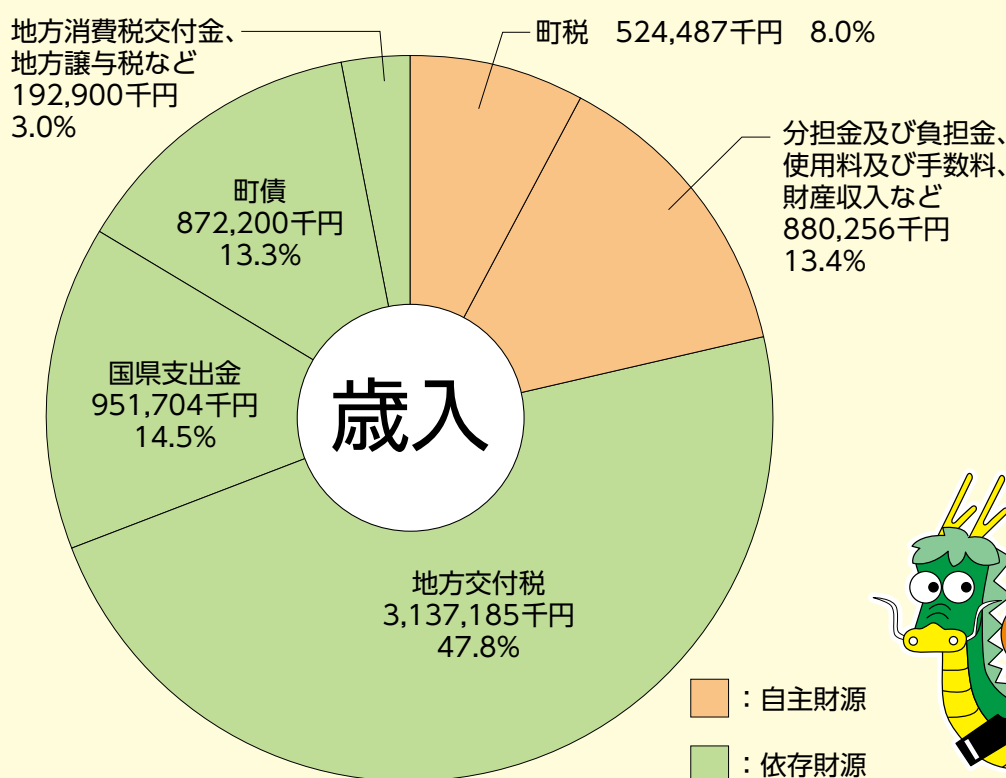
議会一部事務職員	大隅肝属地区消防組合	大隅肝属広域事務組合	南大隅衛生管理組合
	大久保 孝 司	浪 瀬 敦 郎	津 崎 淳 子
	木佐貫 徳 和	川 原 拓 郎	後 藤 道 子
			大 坪 満寿子

一般会計歳入予算の内訳

町の歳入は、町税等、地方自治体の権利能力に基づいて自主的に収入される「自主財源」と、国や県等の意志決定に基づき歳入される「依存財源」に大別できます。

下のグラフのとおり、本町財政は自主財源に乏しく、国や県からの交付金や補助金、事業資金調達のための借入金等の依存財源の割合が高くなっています。

国県補助事業の積極的な活用や借入金の有効活用を図りながらの財政運営に努めているところです。



町の借入金残高の状況

借入金残高のピークは過ぎ、ここ数年はほぼ横ばいでしたが、平成28年度末見込みは、防災行政無線のデジタル化事業等の影響で引き続き増加する見込みです。

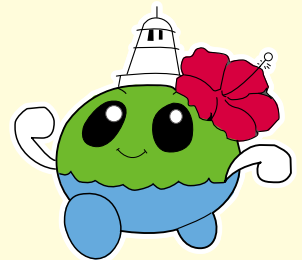
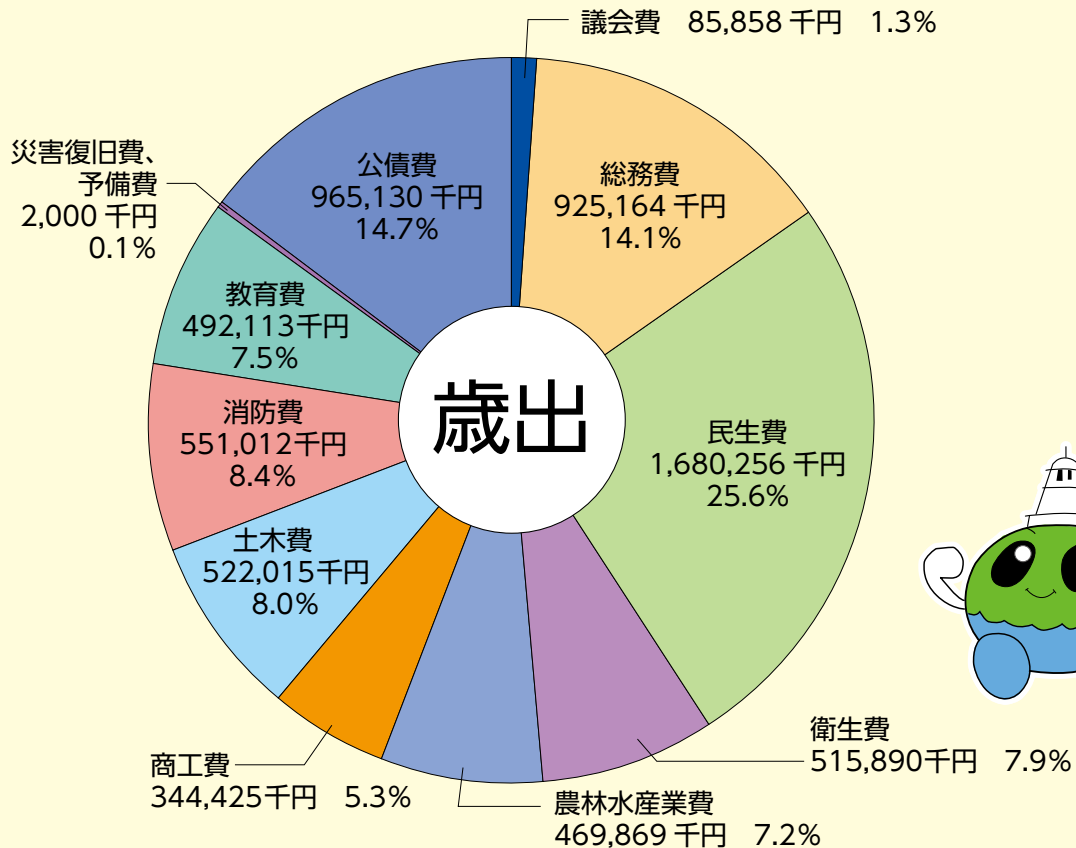
町が借り入れた地方債の中には、その償還費の全額もしくは一部を、国が補填しているものもあります。

単位：千円

会 計	平成 26 年度末	平成 27 年度末	平成 28 年度末見込	平成 29 年度末見込	
一 般 会 計	8,589,904	8,780,965	9,711,055	9,708,578	
特 別 会 計	簡易水道	1,199,185	1,297,781	1,418,917	1,583,434
	診 療 所	7,243	100,383	116,215	115,139
	下 水 道	285,505	280,815	259,194	240,989
合 計	10,081,837	10,459,944	11,505,381	11,648,140	

一般会計歳出予算の内訳

下のグラフは、町の歳出予算を目的別に分類し比率を示したものです。福祉分野の経費である「民生費」の比率が最も高く、次いで、公債費、総務費、消防費、土木費、衛生費、教育費、農林水産業費、商工費、議会費の順になっています。



町税の内訳は、下表のとおりです。

町税は、貴重な自主財源ですので、公平、公正な課税と適正な収納事務に努めているところです。

● 町税の内訳

単位：千円

税目	平成 29 年度予算額	平成 28 年度予算額	比較
町民税	167,045	162,533	4,512
固定資産税	286,991	286,645	346
軽自動車税	28,051	30,097	-2,046
町たばこ税	41,500	41,500	0
入湯税	900	900	0
税合計	524,487	521,675	2,812

平成29年度予算(一部抜粋)

一般会計予算

子ども子育て支援事業



54,014千円

小学校児童を対象に、放課後の健全な遊びや共同生活を通じて自主性・創造性の向上を図ります。

食の自立支援事業



25,270千円

身体的な衰えや認知症等で食事が作れなくなった高齢者や、疾病等により食事管理が必要な高齢者等に対し、食事のサービスを提供することで在宅の生活を支援します。

鳥獣害防止施設整備事業



2,890千円

鳥獣等による農産物被害を防止し、農家の生産意欲の向上と農業経営の安定を図るために侵入防止柵を整備し被害の軽減を図ります。

給食食材支援事業



18,122千円

学校給食の食材として地場産物購入費用を町が一部負担し、食育・地産地消推進計画に基づいた学校給食の農畜産物の活用を推進します。

住み続ける住宅助成事業

10,000千円

子育て世代、高齢者等が、安心・安全に住み続けるための住宅改修に助成をし、定住促進に努める。併せて、事業者登録制度として町内業者への発注により地域経済の活性化に寄与します。

一般世帯 : 対象工事費の15% 上限25万円

子育て世帯 : 対象工事費の20% 上限30万円

※20万円以上の工事費が対象

※町内の施工業者による自宅の改修工事等に限る。

Before



After



特別会計予算

簡易水道事業



738,201千円

佐多地区簡易水道統合事業により、効率的な水道事業運営を図るため、浄水施設の整備や各地区への配水管改良を実施します。

下水道事業(機能強化対策事業)



28,000千円

平成8年度の供用開始から20年経過しており処理場とポンプ場設備の老朽化が著しく機器の不具合が生じ、平成26年度からの事業を継続し機器、機械類の機能低下の回復を図ります。

有効に
活かせ!

平成29年度予算特別委員会

チェックします!

平成29年度予算は、予算審査特別委員会を設置し、委員長に平原熊次議員、副委員長に水谷俊一議員を選出し、3月7日から16日までの間、延5日間に一般会計65億5千8百万円及び、特別会計39億2千5百万円の8会計を審査しました。これら全ての予算が、町民の為に、活かされる様に提言や要望等を含め、活発な審議を行いました。

ふるさと納税 推進事業

Q ふるさと納税寄付金の寄付金額に対する経費を伺います。

A 寄付金の6割を返礼品に充て、手数料が約1割、別途広告料等を勘案すると8割程度が経費となります。

地区社協 設置事業

Q 事業内容を伺います。

A 住民による自治組織の福祉版。地域の実情に応じて、複数自治会に一人の民生委員の下、自治会に数名の在宅福祉アドバイザーを活用し、その下で地域の方々の協力を受ける組織を確立するもので、これまでの、個々の活動を、組織的な活動とし、組織を明確化するものです。

労働力需給体制 構築事業

Q 事業内容を伺います。

A 一般社団法人として現在手続き中であり、シルバー人材センター内に事務所を設置する予定

です。請負事業をまず充実させ、職業紹介、派遣事業はその後、実施してゆく。事業開始時期は、平成29年4月に事務所を開設し、会員の募集から始める予定です。組織の体制は、常務理事兼事務局長1名、理事数名、雇用による職員2名の予定です。

備蓄用非常食 購入事業

Q 事業内容を伺います。

A クラッカーやレトルト食品等400食を購入し備蓄するもので、保存期間は5年間としています。最終的には1千6百食を備蓄する予定です。備蓄された食品は、保存期間満了前に訓練等で使用する予定です。

平成29年度各会計予算の状況

会計名	予算額	採決状況	
一般会計	6,558,732,000	可決	
特別会計	国民健康保険	1,486,498,000	可決
	簡易水道	738,201,000	可決
	診療所	122,965,000	可決
	介護保険（保険）	1,345,163,000	可決
	介護保険（サービス）	16,628,000	可決
	下水道	75,248,000	可決
	後期高齢者	141,226,000	可決



3月・4月会議 一目でわかる審議結果

○全会一致の議案

議案第47号	61	「請負契約（平成28年度南大隅町防災行政無線同報系デジタル化整備工事）の締結について」の議決の一部変更について	3月7日	原案可決
議案第48号	62	南大隅町辺地総合整備計画の変更について議決を求める件	3月7日	原案可決
議案第49号	63	平成28年度南大隅町一般会計補正予算（第17号）について	3月7日	原案可決
議案第50号	64	平成28年度南大隅町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）について	3月7日	原案可決
議案第51号	65	平成28年度南大隅町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）について	3月7日	原案可決
議案第52号	66	平成28年度南大隅町診療所事業特別会計補正予算（第3号）について	3月7日	原案可決
議案第53号	67	平成28年度南大隅町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計補正予算（第3号）について	3月7日	原案可決
議案第54号	68	平成28年度南大隅町介護保険事業（サービス事業勘定）特別会計補正予算（第1号）について	3月7日	原案可決
議案第55号	69	平成28年度南大隅町下水道事業特別会計補正予算（第1号）について	3月7日	原案可決
議案第56号	70	平成28年度南大隅町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）について	3月7日	原案可決
議案第57号	71	財産の無償貸付について議決を求める件	3月7日	原案可決
議案第58号	72	南大隅町医師住宅条例制定の件	3月7日	原案可決
議案第59号	73	南大隅町税条例等の一部を改正する条例制定の件	3月7日	原案可決
議案第60号	74	南大隅町介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定の件	3月7日	原案可決
議案第61号	75	南大隅町職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	3月7日	原案可決
議案第62号	76	南大隅町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	3月7日	原案可決
議案第63号	77	南大隅町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	3月7日	原案可決
議案第64号	78	南大隅町監査委員条例の一部を改正する条例制定の件	3月7日	原案可決
議案第65号	79	南大隅町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	3月7日	原案可決
議案第66号	80	個人情報保護条例等の一部を改正する条例制定の件	3月7日	原案可決
議案第67号	81	南大隅町課設置条例の一部を改正する条例制定の件	3月7日	原案可決
議案第68号	82	平成29年度南大隅町一般会計予算について	3月24日	原案可決
議案第69号	83	平成29年度南大隅町国民健康保険事業特別会計予算について	3月24日	原案可決
議案第70号	84	平成29年度南大隅町簡易水道事業特別会計予算について	3月24日	原案可決
議案第71号	85	平成29年度南大隅町診療所事業特別会計予算について	3月24日	原案可決
議案第72号	86	平成29年度南大隅町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計予算について	3月24日	原案可決
議案第73号	87	平成29年度南大隅町介護保険事業（サービス事業勘定）特別会計予算について	3月24日	原案可決
議案第74号	88	平成29年度南大隅町下水道事業特別会計予算について	3月24日	原案可決
議案第75号	89	平成29年度南大隅町後期高齢者医療事業特別会計予算について	3月24日	原案可決
議案第76号	90	平成28年度南大隅町一般会計補正予算（第18号）について	3月24日	原案可決
同意第3号	91	南大隅町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	3月24日	同意可決
同意第4号	92	南大隅町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	3月24日	同意可決
同意第5号	93	南大隅町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	3月24日	同意可決
同意第6号	94	南大隅町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	3月24日	同意可決
議案第1号	1	「請負契約（社会資本整備総合交付金事業（27-A121）第二岩崎隧道補修工事）の締結について」の議決の一部変更について	4月27日	可決
議案第2号	2	平成29年度南大隅町一般会計補正予算（第1号）について	4月27日	原案可決
議案第3号	3	南大隅町佐多岬ふれあいセンターの指定管理者の指定について議決を求める件	4月27日	原案可決
同意第1号	4	南大隅町固定資産評価員の選任について同意を求める件	4月27日	同意可決
同意第2号	5	監査委員の選任について同意を求める件	4月27日	同意可決

5名の議員が町長・教育長に 町政を問う!!

一般質問（3月会議）



掲載順	質問事項	質問議員
1	<ul style="list-style-type: none"> ・津波災害対策について ・町有財産の管理について 	平原 熊次
2	<ul style="list-style-type: none"> ・南大隅高校寮について ・国民健康保険について ・産業振興基金について 	大久保 孝司
3	<ul style="list-style-type: none"> ・役場本庁舎の耐震化対策について ・文化、スポーツ合宿の誘致推進策について ・移住者の受け入れ策について 	松元 勇治
4	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣対策について ・大泊海浜公園周辺の整備計画について ・町道佐多岬ロードパーク線（ホテル下道）について 	日高 孝壽
5	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎の耐震化に伴う、庁舎のあり方について ・学校教育のありかたについて 	水谷 俊一

津波対策について問う



平原 熊次 議員

【平原】 東日本大震災から6年、また南海トラフ地震の発生も懸念されている中、本町の避難訓練の実施状況、また今後の津波災害対策について伺います。

【町長】 毎年9月の「防災の日」の訓練を中心に、各消防分団内の自治会を交替で、消防分団と地域住民による地震・津波の避難訓練を平成23年度から延べ18回実施しております。今後の災害対策については、引き続き、自然災害に対応する訓練を実施するとともに、町民一人ひとりが、防災意識を高めていただくよう防災啓発に努めてまいります。

と考えます。

【平原】 海拔標示板の設置が見られるが、それらが持つ意味について伺います。

【総務課長】 海拔標示板は、建設課が電柱等に設置した物が、町内225箇所。総務課が各自治会毎に決めていただいた避難場所を中心に124箇所設置しています。設置した意味につきましては、日頃から津波に対する危機意識の啓発と地域住民が避難場所として定めた場所に、目安として設置したところです。

【平原】 海拔標示板の柱だけ建てて、表示のない箇所も見受けられるようだが、今後の対応を伺います。

【支所長】 調査を実施し、海拔表示をしたいと思いません。



町有財産の管理について問う

【平原】 道の駅ねじめの宿泊施設及び周辺の維持管理について伺います。

【町長】 宿泊施設及び周辺の維持管理につきましては、指定管理者が行う事となつ

ています。一方、大規模な災害や施設等の改修に関する業務は、町が実施する事としております。大浜海浜公園内には、使用不能の施設や管理が行き届いていない施設なども数多く現存しておることから、今後は、指定管理者の指導と併せまして、使用不能な施設の撤去も含めて検討処理して参ります。

【平原】 テントサイト付近は竹藪になつているが管理の必要は無いか伺います。

【企画観光課長】 テントサイト等につきましては、全く使用不能というものもありません。その他、周辺管理につきましても大変厳しいところもございまして、指定管理者にも指導を致したところでございます。

【平原】 バンガローを月極めで貸し出す考えはないか伺います。

【企画観光課長】 バンガローの長期的な貸付について

は、現在でも実施していません。貸付期間が長い事に関しては問題ございませんが、使用目的によっては制限する事もあるかと考えます。これまでにも、1ヶ月にわたって使用した例はございません。長期的な貸付につきましては、指定管理者だけでは、判断できない部分もあると思しますので、行政も一緒に確認しながら実施して参りたいと思えます。



南大隅高校寮 について問う



大久保 孝司 議員

【大久保】 南大隅高校寮は、新入生により定員を超えると思われるが対応はどのようにされるか。また、寮生と下宿生の不平等は発生しないか伺います。

【教育長】 平成29年度は、通学圏外7名の生徒が入寮・下宿を希望し、5名の生徒は入寮できますが、2名の生徒につきましては、高校寮と同じ条件で対応していただくことになっております。

【大久保】 一般家庭の下宿先への補助的対応はどのよ

うにされているか伺います。

【教育長】 自転車が収納できるように、家屋の一部をリフォームしております。

【大久保】 食い盛りの学生が一番求めているのはお米じゃないかと思えます。そういう食料を補助する考えはないか伺います。

【教育長】 出来るものがあったら、その方向性を見出していきたいと考えます。

国民健康保険 について問う

【大久保】 平成29年度国保会計は基金残高が少額の中、運営が正常に進められるか伺います。

【町長】 これまでも、国民健康保険基金から繰入れを行いながら財政運営を行って参りましたが、平成29年

度は更に基金残高も少額になっておりますので、正常な財政運営は困難な状況と考えております。

【大久保】 平成24年度2億円の法定外繰入れを実施しました。なぜ、平成29年度は、この様な状況の中で、法定外繰入れをされなかったのか伺います。

【町民保健課長】 基金が無くなっている事はご承知の通りでございます。平成29年度分につきましては、平成30年度からの広域化関係の保険料の納付金の金額が10月頃確定する見込みでありますので、それ以降、基金積立てを検討して参りたいと考えっております。

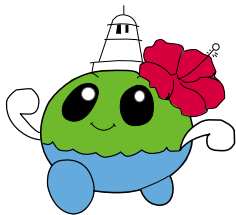
【大久保】 平成30年度から国民健康保険が広域化となると聞かれますが、本町としての対応はされているか伺います。

【町長】 今後、県が財政運営の主体となり、持続可能な制度とするため国保新制

度移行準備連絡会議が設置されており、本町は、事務効率化等部会で、被保険者証等をはじめ各種様式の統一化の協議、移行準備の為に平成28年度からシステムの改修を行っております。

【大久保】 広域化の際、健康保険料改正により増額となる予想か。また、町民への周知はどのように考えているか伺います。

【町長】 現在、県に於いて、市町村ごとの標準保険料率を算定中でありますが、国民健康保険料は増額になると思われれます。また、町の広報誌やチラシにより、新制度の内容について周知を図ってまいります。



産業振興基金 について問う

【大久保】 平成29年度において、産業振興基金をどのように活用されていくか考えを伺います

【町長】 産業振興基金は、平成28年度12月会議において、基金条例を可決いただいた特定目的基金であり、産業振興に関する多種多様な事業に広く対応できる基金であると認識しております。平成29年度における基金活用につきましては、当初予算は骨格予算として位置付けておりますので、本予算となる補正予算の中で、事業の財源として必要であれば当基金を活用したいと考えております。

役場本庁舎の耐震化対策について問う



松元 勇治 議員

【松元】 耐震補強または新庁舎建設の決定時期はいつ頃になるか伺います。

【町長】 現在、町民の皆様からお伺い致しました多くのご意見やご要望の取りまとめを行っております。長期的かつ総合的視点に立ち、耐震補強すべきか、新庁舎建設をすべきかで最終検討を進めているところであります。決定時期につきましては、合併特例債活用期限との関係もございまして、熟慮の上、然るべき時期に判断していく考えであります。

【松元】 早いうちに、町長の判断による決定を出していただきたいと思えます。

【松元】 仮に新庁舎建設とした場合、合併特例債を活用するための条件に合わせ、事業完了できるのか伺います。

【町長】 合併特例債活用期限の平成31年度完了に向けて厳しい日程ではありますが、今後の諸手続きや設計・施工にあたり、緻密かつ着実に工程管理を行う事により、工事完了できると判断しております。

文化、スポーツ合宿の誘致推進について問う

【松元】 過去数年行われていた誘致活動がどのような結果を挙げているか伺います。

【町長】 平成25年度は団体1件、延べ103人泊でありました合宿件数が、本年度は団体5件、延べ460人泊と4倍以上の増加となっております。要因としては、補助要綱の改正や旅行エージェントへの訪問説明、セミナーでの観光PRなどによるものと考えられます。

【松元】 大隅地域と連携した取組みはどのように行われているか伺います。

【町長】 本年度、本町では5団体の合宿受入れを行いました。内、テニス競技の2団体は鹿屋市のスポーツ施設を利用して、鹿屋市の市民スポーツ課や施設管理先とも連携を図りながら取組んでおります。その他、合宿希望団体から、県観光課へ照会があった宿泊施設やスポーツ施設等につきましては、その条件に合致する市町村へ受入れ可否が調査されるシステム等具体的な連携も図られています。

【松元】 今後の合宿誘致の可能性はどのように考えているか見解を伺います。

【町長】 温暖な気候である本町は、合宿地としては最適な場所であると考えます。宿泊のキャパシティに限りがありますが、ホテル、バンガロー、民宿、公共施設などの有効的な利用を促進しながら、幅広い団体の受入れを積極的に行い、多くの方に来町いただけるような取組みを深めてまいります。

移住者の受入れ策について問う

【松元】 移住者がすぐ住めるような住宅（空き家）は、確保されているか伺います。

【町長】 移住定住相談業務は、電話や窓口で対応の後、現地案内を含め仲介支援を行っておりますが、問合

せも年々増えており、立地条件や対象物件の劣化、浄化槽設備の未整備などの理由により契約に至らないケースも多々あり、すぐに住めるような住宅確保は出来ていない現状でございます。

【松元】 定住推進室を置き、住まい、仕事を案内する定住アドバイザーを配置する考えはないか伺います。

【町長】 具体的には企画課に「定住促進係」を置き、移住希望者への可能性の照会や就労体験の研修など関係団体と連携した制度構築や運用に向けた取組みを進めてまいりたいと考えます。これらの取組みを進める中で、各業務を精査しながら、定住アドバイザーの設置の必要性についても検討して参りたいと考えます。

有害鳥獣対策について問う



日高 孝壽 議員

【日高】 イノシシ、サル等有害鳥獣による被害額を伺います。

【町長】 本町の被害額は、1千8百60万6千円で、内訳としては、イノシシ5百78万5千円、サル5百14万7千円、ヒヨドリ7百67万4千円となっています。作物別の被害額としては、水稲2百10万2千円、果樹5百65万円、野菜1百54万4千円、その他67万6千円となっております。

【日高】 これまでの有害鳥獣対策の費用対効果をどう評価しているか伺います。

【町長】 有害鳥獣の被害対策につきましては、「追払い」「侵入防止」「捕獲」の取組みを行っております。平成27年度の農作物被害額は1千8百60万6千円で前年度と比較しまして2千2百56万円の減額となっております。大幅な被害額減少の要因は、ヒヨドリの被害の減少でございますが、イノシシ、サルによる被害も2百万円程度の減額となっております。一定の効果が出ていると考えております。

【日高】 電気柵等を大きいエリア（道路、地目界）での抜本的な対策として考えないか伺います。

【町長】 大きいエリアでの電気柵等の設置につきましては、鳥獣害防止総合支援事業の対象となり、資材費が助成対象となる事から、受益者及び町にとりまして

も財源的に有利であり、地域全体の取組みとして効果も高いと考えております。



電気柵

大泊海浜公園周辺の整備計画について問う

【日高】 大泊海浜公園につきまして今後における年次計画の概要と完成の目的を伺います。

【町長】 平成26年度に「南大隅町誘客観光基盤整備基

本構想」を策定し、具体的には、佐多岬の玄関口である地域特性を活かした大泊海浜公園や、旧大泊小学校を有効活用した整備の方向性や将来像を定めたものです。今後、この基本計画を事業化するに当たっては、平成29年度において、県の「魅力ある観光地づくり事業」で実施が可能となるよう働きかけていくこととしており、現在のところは具体的な年次計画は立っていない状況であります。

【日高】 特産品販売等に関し、地域住民と連携での事業創出は出来ないか伺います。

【町長】 佐多岬整備が進む事で、来訪者が増加する事は確実であることから、お土産品や飲食の提供に限らず、地元ならではの特産品販売は重要なポイントになるかと思われれます。今後、佐多岬整備の完成を見据え、地域資源を活用した地元ならではの飲食メニューや加工品など、地域の創意工夫

を活かし、農林水産業者と観光業者などが連携して取り組んでいけるよう、地元の要望を踏まえながら積極的に取組みたいと考えます。

町道佐多岬ロードパーク線（ホテル下町道）について問う

【日高】 ホテル佐多岬への誘客ルートとして整備は考えられないか伺います。

【町長】 「ホテル佐多岬への誘客ルート整備」についてありますが、現在、佐多岬の開発整備が総合的に進められており、町としても、第2次総合振興計画・大泊地区観光基盤整備基本計画等に基づき交通体系整備を考慮しながら、鹿児島県・関係機関並びに地元とも十分な連携を図り、住民・観光客に優しい快適な道路整備を進めて参りたいと考えております。

庁舎の耐震化に伴う庁舎のあり方について問う



水谷 俊一 議員

【水谷】 庁舎の耐震化事業に関する整備概要の説明を中心に実施された町政座談会をどのように評価しているか伺います。

【町長】 熊本地震の甚大な被害状況、3つの検討組織のスタート、現庁舎の状況、耐震補強と新築建替え案、両整備方針の概要、事業費や耐用年数、現在の財政状況、合併特例債の活用策及び活用期限等を説明し、その内容については、十分ご理解いただいたと考えております。

【水谷】 町長の最終判断を伺います。

【町長】 長期的かつ総合的な視点に立った中、諸般の事情を鑑み、町にとりましても多額の予算を投入する一大事業でありますので、熟慮の上、「然るべき時期」に判断する考えであります。

【水谷】 「然るべき時期」とは、どういう時ですか。

【町長】 然るべきタイミングです。

【水谷】 年度を跨ぐと考えるとよろしいか伺います。

【町長】 年度と言いますと3月末となりますが、今の状況下ではそういう事になるのではと考えます。

【水谷】 耐震補強工事が新築建替え工事かの判断ひとつでさえ、当初12月の予定が3月になり、さらに年度を跨ぎ4月以降にずれ込みます。庁舎建築というものは莫大な費用を費やし後世

まで影響を及ぼす一大事業です。あまりにも拙速な取組みはやめて、必要であれば現庁舎の耐震補強を行い、じっくり考えた方が良くと考えます。

学校教育の在り方について問う

【水谷】 電子黒板の整備計画を伺います。

【教育長】 平成29年度に小学校に3台、中学校に2台、合計5台を配置する計画です。また、導入後の機器の更新時期と重複しないよう、財政面も考慮しつつ、年次的に増設していきたいと考えます。

【水谷】 平成29年度、5台を設置するという事ですが、今まで整備されなかった理由、併せて、今回整備しようと思われた理由を伺います。

【教育長】 すでに設置されている学校等で、あまり活用されていないと聞いていたものですから設置していませんでしたが、今回どれくらいの教員が利用できるか調査したところ、「ややできる」という結果を得ましたので、10月頃から導入を検討して参りました。

【水谷】 ICTを活用した学校教育の在り方をどのように考えるか伺います。

【教育長】 ICTを活用して、わかり易く深まる授業の実現を図って参ります。ICTが有する拡大、動画配信、音声朗読等の機能を教員が活用する事でわかり易い授業が展開されると考えております。

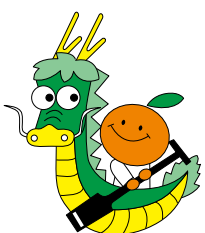
【水谷】 小学校3年生から英語の授業が始まります。小学生の集中を保ちながら英語を教えるのは非常に難しいと考えます。短時間授業を実施されると思うが、子どもたちを引きつけるには、ICTを活用するのが

効果的、小学校での英語の授業は電子黒板を活用するしかない、それには、5台では少ないと考えます。

【水谷】 充実した教育環境こそが、子育て世代の定住を促進する最大の要因であると考えるが町長の考えを伺います。

【町長】 定住促進の最も重要な要素は医療と教育であると考えます。教育の水準を維持する為に、ICT機材の導入や教員のスキルアップを図りたいと考えます。

【水谷】 子どもたちの為に素晴らしい教育環境を提供していただきたいと要望いたします。



自治会対抗ドラゴンボート大会

ドラの音が鳴り響き「レディー・ゴー」の声。ドラゴンボートレースのスタートである。太鼓の音に合わせて、川面を叩く白いパドル。色とりどりのボートがキラキラと輝く雄川を下っていく。

5月14日、「自治会対抗のドラゴンボート大会」が、五月の爽やかな風の吹く、雄川河口で開催されました。初めての乗船に最初はこわごわと漕いでいた子どもたちも、いざレースとなると、身を乗り出し、必死にパドルで漕いでいく。河畔からの声援を受けながら、必死にゴールを目指す子どもたちにとくさんの感動をもたらした一日でした。



編集後記

紫陽花の花が美しい季節になりました。以前は、紫陽花と言えば梅雨が頭に浮かび、実際、雨ばかりで憂鬱になっていましたが、年を重ねるごとに、雨に濡れた紫陽花の、風情ある姿を見て、梅雨を楽しめる様になつてきました。朝夕は、まだまだ寒く、日中は暑さとの寒暖の差に、体調を崩し易く、風邪をひきやすい季節です。水分・栄養・睡眠を十分にとり体調管理に努めましょう。

この度、広報広聴常任委員会が新設され、議員6名で、町政・議会活動・町が抱える様々な問題点を、伝えて参りたいと思います。これからも、町民の皆様にとって、身近でわかり易い「みんなの議会」となるように編集作業に携わってゆきたいと思えます。皆様方のご感想や、ご意見・ご要望等ございましたら、どしどしお寄せいただければ幸いです。

津崎 淳子

【お知らせ】

6月会議は、本庁議会議場で開催されます。一般質問等、「みんなの議会」では見えない議会が、ご覧になれます。多くの方の傍聴をお待ちしています。

詳しくは、議会事務局までお問合せください。



【発行責任者】

議長 大村 明雄

【広報広聴常任委員会】

委員長 水谷 俊一

副委員長 木佐貫 徳和

委員 津崎 淳子

委員 後藤 道子

委員 日高 孝壽

委員 大坪 満寿子

議会を傍聴してみませんか！